

## iv 助産管理

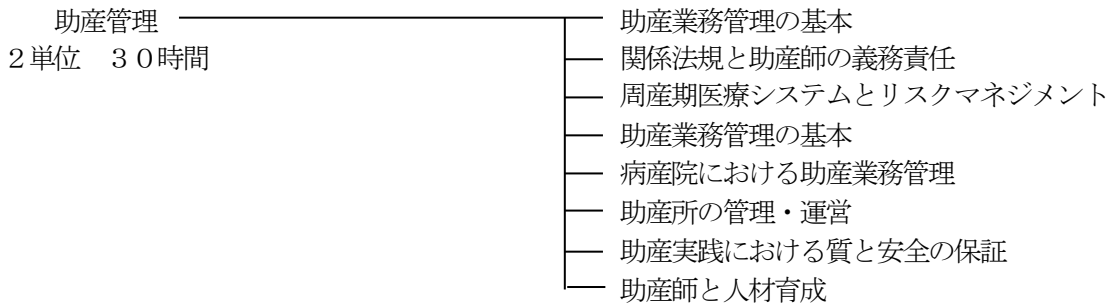
### 1 目的

助産業務の管理および助産所の運営に必要な基礎的能力を養うとともに、周産期医療システムの下で多職種と連携・協働しながら安全でかつ効率的な助産業務を遂行するための基礎的知識を習得する。

### 2 目標

- (1) 助産実践における管理の意義と業務について説明できる。
- (2) 助産業務に関連する法規について説明できる。
- (3) 病院・診療所における管理運営の実際が説明できる。
- (4) 助産所における管理運営のあり方が説明できる。
- (5) 周産期医療システムについて理解し、助産師の役割および活動上の課題について考察できる。
- (6) 周産期における医療事故と安全対策のあり方について考察できる。
- (7) 災害に対する対応と、災害時の助産師の役割がわかる。

### 3 構成図



4 授業科目の目的・目標・内容・方法

| 授業科目  | 助産管理  |  | 専任教員☆<br>①岡田多恵子<br>外部講師☆<br>②山田新尚<br>③大嶋秀美 ④平尾紘未<br>⑤永井直子 ⑥赤塚庸子<br>⑦橋詰さかゑ⑧岡本愛 | 単位数            | 2    | 時<br>期 | 5～翌1月 |
|-------|---|--|---|----------------|------|--------|-------|
|       | 助産管理  | 担当教員   |   | 時間数            | 30   |        |       |
| 目的と目標 | <p>目的<br/>助産業務の管理および助産所の運営に必要な基礎的能力を養うとともに、周産期医療システムの下で他職種と連携・協働しながら安全でかつ効率的な助産業務を遂行するための基礎的知識を習得する。</p> <p>目標<br/>1 助産実践における管理の意義と業務について説明できる。<br/>2 助産業務に関連する法規について説明できる。<br/>3 病院・診療所における管理運営の実際が説明できる。<br/>4 助産所における管理運営のあり方が説明できる。<br/>5 周産期医療システムについて理解し、助産師の役割および活動上の課題について考察できる。<br/>6 周産期における医療事故と安全対策のあり方について考察できる。<br/>7 災害に対する対応と、災害時の助産師の役割がわかる。</p> |  |   |                |      |        |       |
| 回数    | 学習課題  | 内 容  | 方法  | 担当教員           | 備考   |        |       |
| 1     | 助産管理の基本   | 1 助産業務の概念<br>(1) 日本の医療のしくみ<br>(2) 助産業務の定義<br>(3) 法的定義<br>(4) 社会的定義<br>(5) 助産師の業務範囲<br>2 助産管理の概念<br>(1) 管理の基本概念とプロセス<br>(2) 助産管理の定義<br>(3) 助産業務管理の特性<br>(4) 組織における助産師の役割と助産管理体制<br>(5) 快適な出産環境<br>3 助産サービスの質管理<br>4 助産と医療経済<br>(1) 医療保険制度<br>(2) 診療報酬<br>(3) 分娩費用<br>(4) 経営に関する会計のしくみ<br>(5) 母子に対する社会保障 | 講義  | 専任教員<br>①岡田多恵子 |      |        |       |
| 2     | 関係法規と助産師の義務責任   | 1 関係法規<br>(1) 医療法<br>(2) 保健師助産師看護師法<br>(3) 医師法<br>(4) 母子保健法<br>(5) 母体保護法<br>(6) 児童福祉法<br>(7) 地域保健法<br>(8) 戸籍法<br>(9) 刑法<br>(10) 民法   | 講義  | 専任教員<br>①岡田多恵子 | 認定講習 |        |       |

|        |                     |  |    |                |  |
|--------|---------------------|--|----|----------------|--|
|        |                     | (11) 労働法・就業規則<br>2 助産師の法的義務・規制<br>(1) 応召<br>(2) 証明書の交付<br>(3) 助産録の記載<br>(4) 届出<br>(5) 秘密の保持  |    |                |  |
| 3<br>4 | 周産期医療システムとリスクマネジメント | 1 周産期医療の改革の歴史<br>(1) 周産期医療の課題と取り組み<br>(2) 周産期医療の質と安全の保証<br>2 周産期医療システム<br>(1) 周産期医療ネットワーク<br>① 周産期医療のシステム化の流れ<br>② 周産期医療機関の位置づけと役割分担<br>(2) 母体搬送システムの現状と課題<br>3 周産期医療における事故とリスクマネジメント<br>(1) 周産期における医療事故の特徴<br>(2) 医療事故への対応と法的責務<br>4 周産期医療における助産師への期待 | 講義 | 外部講師<br>②山田新尚  |  |
| 5      | 助産業務管理の基本           | 1 助産業務管理の過程<br>(1) 助産管理と助産業務管理<br>(2) 組織の目標管理<br>(3) 業務計画の策定と評価<br>2 助産業務管理の方法<br>(1) 組織管理<br>(2) 書類管理<br>(3) 財務管理<br>(4) 業務管理   | 講義 | 専任教員<br>①岡田多恵子 |  |
| 6      | 病産院における助産業務管理       | 1 総合周産期母子医療センターにおける助産業務管理の実際<br>(1) 施設管理<br>(2) 医療従事者管理<br>(3) 助産サービスの管理と特徴<br>(4) 他部門・他機関との連携と協働<br>(5) リスクマネジメント   | 講義 | 外部講師<br>③大嶋秀美  |  |
| 7      |                     | 2 病院（二次医療機関）における助産業務管理の実際  | 講義 | 外部講師<br>④平尾絃未  |  |
| 8      |                     | 3 診療所（一次医療機関）における助産業務管理の実際   | 講義 | 外部講師<br>⑤永井直子  |  |
| 9      |                     | 4 分娩を取り扱う助産所における助産業務管理の実際<br>(1) 助産の安全の確保<br>① 業務管理<br>② 人事管理<br>③ 記録物管理<br>④ 施設管理<br>⑤ 災害対策   | 講義 | 外部講師<br>⑥赤塚庸子  |  |

|    |                 |  |    |                |      |
|----|-----------------|--|----|----------------|------|
|    |                 | ⑥ リスクマネジメント<br>(2) 助産サービスの管理と特徴<br>① 妊産婦管理<br>② 分娩管理 (入院機能・出張介助)<br>(3) 医療との連携と協働<br>(4) 地域での活動と社会貢献   |    |                |      |
| 10 | 助産所の管理・運営       | 1 助産所の経営<br>(1) 助産所の理念<br>① 使命<br>② 信条<br>③ 展望   | 講義 | 外部講師<br>⑦橋詰さかゑ |      |
| 11 |                 | (2) 助産所開設に向けた準備<br>(3) 助産所の運営と管理<br>① 人事管理<br>② 財務管理<br>③ 質と安全の保証<br>(4) 助産師の役割・責任と自律  | 講義 | 外部講師<br>⑧岡本愛   |      |
| 12 |                 | 2 助産所の管理・運営の基本<br>(1) 助産所の管理に関する法規<br>① 助産所の定義<br>② 助産所の管理者とその義務<br>③ 助産所の構造と設備<br>④ 助産所の広告<br>(2) 助産師の開業と医療安全管理<br>① 助産所管理の基本<br>② 嘱託医と嘱託医療機関<br>③ 助産所業務ガイドライン<br>④ 環境、設備、備品<br>3 助産所の開設<br>(1) 助産師の法的責任<br>(2) 開設のスケジュール<br>(3) 許可と届出<br>(4) 助産所の管理<br>(5) 助産所の業務<br>(6) 災害時の対策<br>(7) 医療事故の予防と対策<br>(8) 開業に伴う税務<br>(9) 母子に関する社会保険制度 | 講義 | 専任教員<br>①岡田多恵子 | 認定講習 |
| 13 | 助産実践における質と安全の保証 | 1 助産業務における安全対策<br>(1) 助産業務におけるリスクマネジメント<br>① 助産業務における事象<br>② 情報管理と記録<br>③ 個人情報の保護<br>(2) 事故への対応と損害賠償<br>(3) 助産実践のガイドラインと外部機能評価<br>2 災害時の助産管理<br>(1) 災害時の法的対応<br>(2) 災害に対する備え   | 講義 | 専任教員<br>①岡田多恵子 |      |

|   |           |  |    |                |  |
|---|-----------|--|----|----------------|--|
|   |           | (3) 災害時における助産の原則<br>3 災害時の地域母子保健活動<br>(1) 災害の定義<br>(2) 災害の種類<br>(3) 災害サイクルと各期の対応<br>(4) 東日本大震災時の地域母子保健の実情<br>(5) 母子保健支援者へのケア   |    |                |  |
| 14  | 助産師と人材育成  | 1 助産サービスの質保証<br>(1) 助産分野の機能評価<br>(2) 助産実践能力習熟段階<br>(クリニカルラダー;CLoCMiP <sup>®</sup> )<br>の活用<br>(3) 助産実践能力習熟段階<br>(クリニカルラダー;CLoCMiP <sup>®</sup> )<br>レベルⅢ認証制度の意義<br>(4) サービス提供における人材育成と<br>助産実践能力強化 | 講義 | 専任教員<br>①岡田多恵子 |  |
| 15  | まとめ (1時間) |  | 講義 | 専任教員<br>①岡田多恵子 |  |
|   | 試験 (1時間)  | 筆記試験   |    | 専任教員<br>①岡田多恵子 |  |
| 評価方法<br>筆記試験 100点 (専任教員①1~2、5、12~15 外部講師②3~4、外部講師③6、外部講師④7、<br>外部講師⑤8、外部講師⑥9、外部講師⑦10、外部講師⑧11 )            |           |  |    |                |  |
| 教科書・参考図書<br>助産学講座 1・10<br>助産師基礎教育テキスト3<br>助産業務要覧<br>母子保健の主なる統計<br>看護六法<br>助産師の声明<br>助産力<br>助産業務ガイドライン2024 |           |  |    |                |  |
| ☆担当教員の実務経験  |           | ①助産師として医療機関に勤務した経験を生かした授業展開をする。<br>②医師として医療機関に勤務している経験を生かした授業展開をする。<br>③④⑤助産師として医療機関に勤務している経験を生かした授業展開をする。<br>⑥⑦⑧助産師として助産所に勤務している経験を生かした授業展開をする。   |    |                |  |